

シーン5 調剤薬局の受付にて

それでは次の動画に移ります。

調剤薬局の受付でのシーンです。

どこがオカシイのか？後ほどいっしょに

『もっとぱっとスピード問診票』をチェック
しましょう。

それではご覧ください

調剤薬局の受付で

シーン5 調剤薬局の受付の解説

いかがでしょうか？

やっぱりなんかヘンですよね。

どこがヘンなののでしょうか

薬剤師が忙しいのは重々承知していますが、

こういう場面もサラッとやり過ごさないで、


必ず『もっとぱっとスピード問診票』を

チェックしましょう。

それではチェックを入れてみましょう。

シーン5 調剤薬局の受付の答え合わせ

いかがでしょうか？
私はここにチェックを
つけました

 1 - 1、1 - 8

- | | | |
|---|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 人・物の名前がすぐ出ない
「あれあれ、それぞれ」 | <input type="checkbox"/> TVの内容が分から
なくなったと言う | <input type="checkbox"/> 今まで好きだったこと
なのに無関心になる |
| <input type="checkbox"/> 日付・曜日を何度も
確認する | <input type="checkbox"/> 話しのつじつまが
合わない | <input type="checkbox"/> 気がめいる・不安がる
夜が眠れないと言う |
| <input type="checkbox"/> 何しに来たのか忘れる
どこに置いたか忘れる | <input type="checkbox"/> 趣味や慣れた習慣が
出来なくなる | <input type="checkbox"/> 被害者意識が強い
物を盗られた！と言う |
| <input type="checkbox"/> 薬の飲み忘れが多い
火・電気の消し忘れ | <input type="checkbox"/> お金を使った
買い物が出来ない | <input type="checkbox"/> すぐ怒る・落ち着かない
独り言を言う |
| <input type="checkbox"/> 親しい家族や友人の
名前が出ない | <input type="checkbox"/> 一人でバスや電車に
乗るのが難しい | <input type="checkbox"/> 幻聴・幻視が出る
と言い出した |
| <input type="checkbox"/> 約束した時間や場所
を間違える | <input type="checkbox"/> 料理・洗濯がダメ
菜・お金の管理がダメ | <input type="checkbox"/> 何日も風呂に入らない
ゴミを捨てない |
| <input type="checkbox"/> 一度に二つのことは
覚えられない | <input type="checkbox"/> リモコンや携帯や
つめ切りが使えない | <input type="checkbox"/> 家の中でも外でも
やたらウロウロする |
| <input checked="" type="checkbox"/> 同じことを何度も言う
また同じ物を買ってきた | <input type="checkbox"/> だまされやすい！
オレオレ詐欺や押売り | <input type="checkbox"/> 異常なこだわりがある
同じ事を何度もする |
| <input type="checkbox"/> 今いる場所がもう分か
らないと言う | <input type="checkbox"/> 服を間違えて着る
ちゃんと切れてない | <input type="checkbox"/> 昼ウトウトしてて
夜は起きてる |
| <input type="checkbox"/> 家族や親しい人の顔
すらも分からない
あなた誰だっけ？ | <input type="checkbox"/> いつもの慣れた道で迷う | <input type="checkbox"/> よく転ぶ・歩き方がヘン
なんかポーっとしてる |

シーン 5 調剤薬局の受付での解説

明らかな「記憶障害」があります
左段の4番目以下にチェックが入りますから、
認知症がおおいに疑われます。
服薬管理ができていない可能性があります。
中段の6番にチェックが入れば、もはや中度の
認知症です。
実際は、生活が困難になりつつあるのかもしれませんが。

シーン5 調剤薬局の受付での解説

しかも、さらに気がかりなのは、連れて来た息子が「自分の母親は認知症かも?!」と疑っている素振りが無いことです。

息子にとってはこの女性は、高齢者というよりも「ただの母親」にすぎません。息子は母親を認知症とすぐには認めたくないでしょうし。

しかもこの女性に処方箋を発行した主治医も、この女性が“認知症疑い”であることに気がついていないかもしれません。

シーン5 調剤薬局の受付のこの後の対応

以上の理由から、このワンシーンの中だけでも、
薬剤師のとるべき行動は沢山あります。

「なんかヘンな人！」 「トシだからね～」 「もし
かしたら認知症なんじゃないの？」 で済ませてし
まってはいけません。

まずは、必ず『もっとぱっとスピード問診票』に
チェックを入れましょう。

次に、生活にどれくらい支障が出ているのか、調
査が必要です。

シーン5 調剤薬局の受付のとりべき対応

もしも息子さんから「おふくろがなんだかヘンなんですよ」とご相談があったら、『もっとぱっとスピード問診票』をお渡しして、息子さんに書いてきてもらおうとよいでしょう。

そして、書いて持参してくれたらなら、薬局ではそれを複写して保存しましょう。そして「この結果を主治医に次回にお見せください。どんな説明があるか、また教えてくださいね」と伝えましょう。

シーン5 調剤薬局の受付でのその後の対応

薬剤師の側からも、主治医に働きかけましょう。
この人に処方箋を発行している主治医には、薬剤師が書いたものでも、息子が提出してくれたものでもよろしいので、記入の済んだ『もっとぱっとスピード問診票』を主治医に提出してみましよう。そして「先生、この人はやはり認知症なのでしょうか？」と問いかけましょう。

シーン5 調剤薬局の受付でのその後の対応

でももし、息子に心配する素振りが感じられない、あるいは、薬剤師からせっかく主治医に相談しているのに、医師が聞く耳を持たない（実はそういう医師が結構多い）ならば…

この『もっとぱっとスピード問診票』を携えて、地域包括支援センターにご相談ください。

認知症サポート医などを介して、別のルートから認知症の診断をつけられるかもしれません。

シーン5 調剤薬局の受付のその後の対応

もしもその人に「認知症」の診断がついた場合は、あなたの薬局での対応方法が変わってくるのではないのでしょうか？

そして「ご自宅に訪問して薬剤の管理をしてさしあげられます」とお勧めしやすくなるかもしれません。

さてこれまでは、医師・歯科医師・薬剤師が出会う「認知症あるある」でした。

この三師の場合は、今までご覧いただいたように「記憶障害」の症状に出会うことがほとんどです。

ですから、逆に言えば「日常生活がどれくらい不具合なのか？」「その他の認知症の症状はあるのか？」は容易には分からないのです。

ですから、その点を地域包括支援センターにお願いして調査してもらいましょう、という話でした。